

One Team Hokuetsu ⑭



5月11日(月)おはようございます。
また、新たな週が、始まりました。今週も
健康観察等、時間を守り行っていきましょう。



この One Team Hokuetsu ですが、3回目より
対談形式になりましたが、毎日450位のアクセスがあるようです。
ありがとうございます。

さて、先週は、山口健太郎先生と平野先生の対談でした。
今日、平野先生は、どなたとの対談を望まれたのでしょうか。

こんにちは！数学担当の平野です。今回は、
生物の弓桁三宜先生にインタビューをしました。



平野：GWはどのように stay home していましたか？

弓桁：子どもが寝た後に、Huluで「ウォーキング
デッド」を一气見していますね。アクション系・
ホラー系が好きで、Huluの上位に入っていたので、気になって見たらハマってしまいました。
「あなたの番です」も最近見ました。

平野：昨年お子さんが生まれたんですね。改めておめでとうございます！子育ての合間
に上手に時間を作っているんですね。

弓桁：そうですね。でも子供が起きないように音量は小さくして、字幕で見えています。

平野：気を付けないとですね。そういえば、先生はどうして教師を目指したのですか？

弓桁：中学3年生のときの先生に憧れたことがきっかけです。

平野：どんな出来事がありましたか？

弓桁：女性の先生で、すごく明るくて、平等に接する先生でした。その先生の影響なのか、ク
ラスの雰囲気がとても良く、体育祭、球技大会、合唱祭ですべて優勝しました。行事がとても
好きになったのもその時期からですかね。

平野：クラス行事の完成度が高いのもこの時の影響なんですね。

弓桁：そうですね。昔、第2、第4土曜日が休みだった頃、なんで土曜日も学校がないんだ！っていうくらい学校に行くことが楽しかったですね。中学時代を通して、勉強、運動、友達付き合いもよかったです、高校に入学してから自分の無力さに気づかされました。

平野：何があったんですか？

弓桁：部活はきついし、周りはみんな足が速くて勉強もできました。1年生の夏休みを過ぎたあたりから、順位もかなり下がりました。そのとき、世界を知らな過ぎたなと思いましたね。

平野：つらい時期だったんですね。その後どうなりましたか？

弓桁：高校時代の思い出でもあるんですけど、1回やめそうになって顧問の先生に言いに行こうとしましたが、友達に辞めるということを話したら部員に伝わり、自転車を体育館わきに取りに行こうとした時に、バスケット部全員に自転車を取り囲まれました。永遠に説得され、みんなに泣かれました。なぜ辞めるのか理由を聞かれ、自分は勉強ができないからと答えました。でも、自転車で20分くらいのところに住んでいた私は、ほかの部員は1時間以上かかったり、はるかに遠いところに住んでいてもみんな成績もいいし頑張っていたのを思い出し、どうやって勉強してるのか聞いたら、バスの中の時間など通学時間など工夫できることはたくさんある、やれることはたくさんある、だからまだやめるなって言われました。それで部活を継続しました。そのあとも勉強はできませんでしたが、部活をやり切り、みんなと最後まで努力し、悔しさを共有できたことはすごく良かったと感じています。高校時代のほぼすべての時間を共有した仲間がいることはすごくいいことだなって。だから、部活を最後までやり切ったということは自分の中で自信になっています。

平野：青春ですね。ひとつ疑問なんですけど、どうして生物の先生なんですか？好きな生き物とかいたんですか？

弓桁：生き物が特別好きであったわけではないですね。あと、高校の時は生物のテストはほぼ赤点に近かったです。高校の時に浪人し、浪人時代に予備校に通っていた時に、生物の担当教員がとても面白く授業をしていて、そこから生物が好きになりました。

平野：大学時代は何を研究していましたか？

弓桁：アリですね。

平野：なぜアリを？

弓桁：国公立大学は同学年が少なく、教育学部理科専修は23人しかいませんでした。その

中で物・化・地・生・理科教育の5つに分かれて研究します。当時生物は5人で、生物の教授が2人いました。一人は微生物の研究で、もう一人の教授は社会性昆虫（ハチやアリなど分業する昆虫）の研究でした。本来私はDNA分野が好きで、社会性昆虫の研究室ではその研究もできると言われ入ったのがきっかけです。

平野：アリは好きですか？

弓桁：あまり好きではないです（笑）。たくさんアリを見すぎて（笑）。当時、PCR（DNAを増幅させる方法）のため研究室に泊まることもありました。当時やっていた研究は、血縁度（0～1で表される）を調べるもので、0は赤の他人、1はクローンという度合いで、これを、アリについて調べてました。血縁度は人間の兄弟だと0.5（平均値）、アリは理論上だと0.75になるんです。だから、アリはかなり自分なんですよ！自分と似ている遺伝子を持った子をみんなで育て残していく、という生物なんですよね。ただ私の研究していたアリは血縁度が0.3くらいにしかならず、なぜなのかという考察をして卒論を書きました。

平野：研究すると様々なことが分かってきて面白いですね。それでは、最後に生徒へのメッセージをお願いします。

弓桁：仲間づくりをしてほしいです。いや、友達づくりをしてほしいです。社会に出たとき、仲間はとても大切ですが、馬鹿なことを言い合えたりできる友達も、この高校生活の中で作ってほしいと思います。一生ものの友達を作ってほしいです。同じ目標を共に過ごしていくなかで、損得勘定なしで付き合えるのが友達だと思っています。意味もなく笑い合える、そういう友達を大切に作ってほしいです。RADWIMPSの正解という曲の歌詞が、私の友達という言葉の定義となっています。ぜひ聞いてみてください。

平野：正解。素晴らしい曲ですよ。弓桁先生ありがとうございました。

今週も、One Team Hokuetsu を元気に、配信します。